

のぎわっ子 家庭学習の手引き

東部小学校 5年

保護者の皆様へ

家庭学習の意義

- 1 学校で学習した内容をより確かになります。
- 2 家庭での学習習慣が身に付きます。
- 3 自ら学ぼうとする態度や、学習に対する自信が付きます。
- 4 がまん強さ・根気・集中力が身に付きます。
- 5 家族が触れ合う機会となり、子どもの心の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

東部小学校では、子供たちの学力向上に取り組んでいます。学力の向上には、学習の定着をはかるだけではなく、自ら学ぼうとする姿勢を育てることが大切です。**自ら学ぼうとする態度は、子供たち自身が学習理解を振り返り、学習を深めるために必要なことを考えていく力です。**そのためには、保護者の皆様の協力が必要です。**家庭学習がやりっ放しになっていないか一緒に答えを確認したり、アドバイスをしたりするなどの御協力をお願いします。**

5年生はこんな時期

- ・一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど大人の評価が気になります。
- ・自分を客観的に見つめたり、友達と自分とを比べたりするようになります。
- ・考える力も大人並みに近づき、自我が目覚めます。
- ・心も体も急激に変化します。心と体のバランスが崩れ、不安定になることもあります。
- ・得意教科、苦手教科を意識し始めます。
- ・**大人のアドバイスにより、学習への意欲や興味、関心が大きく左右されます。**

◇見守って 伸ばす 5年生◇

がんばりを認め、
ほめて励ます言葉
掛けをしましょう。



学校の主な学習内容

- ・家庭科の学習が始まります。
- ・外国語科の授業を週2時間行います。
- ・どの教科も、学習内容が多くなります。
- ・筋道を立てて考える論理的な内容の学習や、抽象的なものの見方が求められます。
- ・自分で課題を見付け、解決していくことの面白さを経験させ、「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
- ・新出漢字は、193字です。

生涯にわたる「**学び**」へとつながります。

家庭学習 こんな内容・方法で

- | | | |
|----|----|------------------------------------|
| 国語 | 音読 | ・自分の思いや考えが伝わるように、音読や朗読をしましょう。 |
| | 漢字 | ・正しい書き順でとめ、はね、はらいに気を付けて丁寧に書きましょう。 |
| | | ・自分で確かめをし、間違いはその場ですぐに直す習慣を付けましょう。 |
| | 読書 | ・「のぎわっ子必読図書」を完読しましょう。 |
| | | ・家族で本を読んだり本について話したりしましょう。 |
| | | ☆木曜日を「のぎわっ子読書の日」と位置付け、読書の推進を図ります。 |
| 算数 | 計算 | ・計画的にドリルやプリント学習に取り組み、間違いは必ず直しましょう。 |
| | | ・よく間違える問題は、繰り返し練習しましょう。 |

学びの三がまえ

- <心がまえる> テレビなどを消して、集中して学習する。
(時間のめやす 60分)
- <物がまえる> 整頓された場所で学習する。
- <身がまえる> 良い姿勢で学習する。
- <物がまえる> 前日に、次の日の準備をする。
 - ① 予定帳を見て持ち物の準備をする。
 - ② 鉛筆を削る。
 - ③ 学校からの連絡やお便りを確実に手渡す。

自主学習の充実

- ・授業などで学習した内容で、もっと知りたいことを資料を使って調べ、自主学習ノートにまとめてみましょう。(けてぶれ の充実)
- ・その日に学習したことを思い出し、自主学習ノートで復習してみましょう。
- ・進んで学ぶために、図鑑や国語辞典をそばに置きましょう。